

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
衛生管理Ⅰ	美容学科／1年	2026／後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位（30時間）	必須		前川 涼子
授 業 の 概 要			
美容師として必要な公衆衛生、環境衛生、感染症に関する正しい知識を身につける 美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する			
授業終了時の到達目標			
美容師国家試験合格レベルの知識習得			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	公衆衛生の概要	理容・美容と感染症 主な感染症	
2	公衆衛生の概要	公衆衛生発展の歴史 理容師、美容師と公衆衛生	
3	公衆衛生の概要	保健所と理容業、美容業	
4	保健	母子保健	
5	保健	成人、高齢者保健	
6	保健	精神保健	
7	環境衛生	環境衛生の概要	
8	環境衛生	空気環境	
9	環境衛生	衣服、住居の衛生	
10	環境衛生	上、下水道と廃棄物	
11	環境衛生	衛生害虫とネズミ	
12	環境衛生	環境保全	
13	感染症の総論	人と感染症（歴史、法律、分類）	
14	感染症の総論	病原微生物（種類、形と大きさ）	
15	期末試験	期末試験	
教科書・教材		評価基準	評価率
衛生管理		期末試験	100.0%
			その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
保健Ⅰ	美容学科／1年	2026／後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位（30時間）	必須		福原 里奈
授 業 の 概 要			
人体の構造、機能を全体的に学び理解を深める			
授業終了時の到達目標			
各器官の構造及び、機能を学び、それぞれの器官と関連付けて理解することができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
教科書を中心とした予習復習			
回	テ ー マ	内 容	
1	導入、人体の器官と各部の名称	自己紹介、概要説明、人体お器官と各部の名称	
2	人体の構造	細胞、組織、器官及び器官系	
3	人体各部の名称	頭部、頸部の体表解剖	
4	骨格器系	骨の構成、役割、上肢、下肢骨など	
5	筋系	筋肉の種類と役割	
6	神経系	神経の種類と役割、脳、せき髄	
7	感覚器系	眼、耳、鼻、口	
8	循環器系	心臓の構造、はたらき	
9	循環器系	血液の流れ	
10	呼吸器系	器官、気管支、肺の構造と役割	
11	消化器系	口、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の構造と役割	
12	消化器系	膵臓、肝臓の構造と役割	
13	まとめ	美容師国家試験過去問、解説	
14	まとめ、期末試験	まとめ、期末試験	
15	期末試験の解答、解説	解答と解説、まとめ	
教科書・教材		評価基準	評価率
公益社団法人日本理容美容教育センター保健		期末試験	100.0%
			その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
香粧品化学Ⅰ		美容学科／1年	2026／後期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位（14時間）		必須		石丸 憲治
授 業 の 概 要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する 香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	1章 香粧品概論 1節 香粧品の社会的意義と品質特性		香粧品の社会的意義と品質、必要条件について	
2	1章 香粧品概論 2節 香粧品の規制 3節 香粧品の安定性と取扱い上の注意		香粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示広告の規制について 香粧品の安定性、経時変化、使用上、取扱い上の注意について	
3	1章 香粧品概論 4節 香粧品と安全性 2章 香粧品用原料 1節 香粧品の対象となる人体各部の性状		香粧品と安全性、表示成分と安全性、香粧品によるトラブルについて 香粧品の種類と昨日、皮膚と水、頭皮や毛髪との健康な状態、爪の性状、まぶたや口唇の性状、香粧品のなりたちについて	
4	2章 香粧品用原料 2節 水性原料 3節 油性原料		水性原料である、水、エタノール（エチルアルコール）について 油性原料である、油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能について	
5	2章 香粧品用原料 4節 界面活性剤		界面活性剤の基本的性質、種類、香粧品への応用について	
6	2章 香粧品用原料 5節 高分子化合物 6節 色材		高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用について 色材と香粧品、無機顔料、有機合成色素（タール色素）、光輝性顔料（パール顔料）、天然色素について	
7	2章 香粧品用原料 7節 香料 8節 その他の配合成分 9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料		香料と香粧品、香料の種類、調合香料について 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、香粧品配合成分があたえる機能、その他の特殊成分について 合成樹脂、接着剤、塗料について	
教科書・教材		評価基準		評価率
日本理容美容教育センター 香粧品化学		期末試験		100.0%
				その他

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
文化論Ⅰ	美容学科／1年	2026／後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）	必須		澁谷 寧音
授 業 の 概 要			
日本の理髪業の文化史 日本の髪、化粧、服装、ファッション文化の変遷			
授業終了時の到達目標			
ヘアスタイルが独立して存在するのではなく服装等とのトータルバランスが不可欠であり時代の波の中でどのように変換して来たかを学ぶことで時代とファッションのかかわりを知る。 また、ファッションの造形、色彩の原理などを学び感性を高め来るべき時代の要請にこたえられるデザイナーになる。			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	総論	総論	
2	日本の美容業の歴史	理容業の登場～江戸時代の理容業	
3	日本の美容業の歴史	近代～現代の理容業	
4	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代	
5	ファッション文化史 日本編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	
6	ファッション文化史 日本編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	
7	ファッション文化史 日本編	近世（平安時代末期、鎌倉、室町、戦国時代）	
8	ファッション文化史 日本編	近世（平安時代末期、鎌倉、室町、戦国時代）	
9	ファッション文化史 日本編	近世（戦国時代末期、安土桃山時代）	
10	ファッション文化史 日本編	近世（戦国時代末期、安土桃山時代）	
11	ファッション文化史 日本編	近世（江戸時代）	
12	ファッション文化史 日本編	近世（江戸時代）	
13	ファッション文化史 日本編	近代（明治時代）	
14	ファッション文化史 日本編	近代（明治時代）	
15	まとめ	まとめ	
教科書・教材		評価基準	評価率
文化論		期末試験	100.0%
			その他

作成者:相原 有以

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
美容技術理論Ⅰ		美容学科／1年	2026／通年	講義	
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位（90時間）		必須		相原 有以	
授 業 の 概 要					
・美容師を志すうえで一人前の技術者になるため、美容技術の基礎的な知識を身につける。 また長い職業人生を通して、より良い美容技術を提供するため裏付けとなる理論を理解する。 ・美容師国家試験合格を目指し繰り返し学習する。					
授業終了時の到達目標					
・美容師国家試験合格に達成できる知識の習得 ・合格後、サロンで働く際に知っておくべき知識を定着させ就職してからも活かす					
実務経験有無		実務経験内容			
有	実務経験 8 年				
時間外に必要な学修					
授業内で行った内容の復習					
回	テ ー マ		内 容		
1	美容技術理論を学ぶにあたって		①授業概要の説明 ②美容理論と美容技術 ③美容技術における作業姿勢 ④美容技術に必要な人体各部の名称		
2～4	美容用具		①美容技術における用具 ②コーム ③ブラシ ④シザーズ ⑤レザー ⑥ピン類、ヘアクリップ ⑦ロッド ⑧ローラー ⑨ヘアアイロン ⑩ヘアドライヤー ⑪ヘアスチーマー ⑫遠赤外線		
5～9	シャンプーイング		①シャンプーイングの総論 ②サイドシャンプー ③バックシャンプー ④リンス・コンディショナー・トリートメント ⑤スカルプシャンプー ⑥ヘッドスパ		
10～12	ヘアデザイン		①美容とデザイン		
13～15	ヘアカッティング		①ヘアカッティングとは ②シザーズとレザーの扱い方 ③美容刃物 ④ヘアカッティングの正しい姿勢 ⑤ブロッキング ⑥ヘアカッティングの基礎理論 ⑦ベーシックなカット技法 ⑧シザーズによるカット技法 ⑨レザーによるカット技法		
16～20	パーマメントウェーブ		①パーマメントウェーブの歴史 ②パーマメントウェーブの理論 ③パーマ剤の分類 ④パーマ剤に関する注意事項 ⑤パーマメントウェーブ技術 ⑥縮毛矯正		
21～25	ヘアセッティング		①ヘアセッティングとは ②ヘアパーティング ③ヘアシェービング ④ヘアカーリング ⑤はウェービング ⑥ローラーカーリング ⑦フロードライ ⑧アイロンセッティング ⑨バックコーミング ⑩アップスタイル ⑪ウィッグとヘアピース ⑫ヘアセッティングの応用		
26～31	ヘアカラーリング		①ヘアカラーリングの概論 ②ヘアカラーリングの種類 ③ヘアカラーのタイプ別特徴 ④染毛のメカニズム ⑤色の基本 ⑥毛髪のレベルとアンダートーン ⑦パッチテスト ⑧染毛剤の使用時の注意事項 ⑨ヘアカラーリングの道具 ⑩酸化染毛剤 ⑪酸化染毛料の技術手順		
32～37	エステティク		①エステティク概論 ②皮膚の生理と構造 ③カウンセリング ④美容におけるマッサージ理論 ⑤フェイシャルケア技術 ⑥フェイシャル及びデコルテマッサージ ⑦フェイシャルパック ⑧ボディケア技術 ⑨ボディマッサージ		
38～43	ネイル技術		①ネイリスト技術概論 ②ネイリスト技術の種類 ③爪の構造 ④爪のカット形状 ⑤ネイル技術と公衆衛生 ⑥カウンセリング ⑦ネイルケア ⑧アーティフィシャルネイル ⑨手と足のマッサージ		
44～45	まとめ		学習した内容を復習		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
◆美容技術理論①◆			期末試験	100.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
美容実習Ⅰ	美容学科／1年	2026／通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
7単位（406時間）	必須		相原 有以
授 業 の 概 要			
・美容師国家試験に向けての技術と理論を習得する ・美容技術の基本であるワインディングを取得する ・技術及び衛生を身につける			
授業終了時の到達目標			
・美容師国家試験合格 ・試験合格に向けて技術と衛生概念を身につける ・就職後も活かせる技術を身につける			
実務経験有無	実務経験内容		
有	実務経験 8 年の経験を活かし、技術・衛生の知識を定着させる		
時間外に必要な学修			
習った技術を自主練習し、技術力を上げる			
回	テ ー マ	内 容	
1	①授業の概要説明、動機づけ	①国家試験について、道具の準備、身だしなみ、説明	
2	①テーブルセッティング ②ウィッグの扱い方	①テーブルの配置、必要な道具 ②ウィッグの手入れ方法	
3～5	①10ブロッキング	①10ブロッキングの手順	
6～9	①10ブロッキング ②ワインディング	①10ブロッキング（10分） ②オールパーパス（上巻き）	
10～13	①10ブロッキング ②ワインディング	①10ブロッキング（10分） ②オールパーパス（下巻き）	
14～19	①10ブロッキング ②ワインディング	①10ブロッキング ②オールパーパス（センター）	
20～24	①シャンプーレクチャー ②シャンプー実習 ③ドライの方法	①動機付け、シャンプーの手順 ②相モデルでシャンプーをする ③タオルドライ・ドライヤーの扱い方	
25～29	①5ブロッキング ②ワインディング	①5ブロッキング ②オールパーパス（バックサイド・サイド）	
30～39	①3ブロッキング ②ワインディング	①3ブロッキング ②オールパーパス（全頭50分）	
40～49	①ワインディング	①オールパーパス（全頭40分）	
50～59	①ワインディング	①オールパーパス（全頭30分）	
60～69	①ワインディング	①オールパーパス（全頭25分）	
70～99	①ワインディング	①オールパーパス（全頭20分）	
100	①カッティング	①動機付け、ワンレングスの手順	
101～109	①カッティング	①ワンレングス	
110	①オールウェーブセッティング	①動機付け、オールウェーブの構成	
111～129	①オールウェーブセッティング	①オールウェーブ（フルウェーブ）	
130～149	①オールウェーブセッティング	①オールウェーブセッティング（ピンカール）	
150～169	①ワインディング	①オールパーパス（20分）	
170～175	①ワインディング	①デザイン巻き（ブロッキング）	
176～189	①ワインディング	①デザイン巻き（フロント・センター）	
190～199	①ワインディング	①デザイン巻き（バックサイド・サイド）	
200～203	①ワインディング	①デザイン巻き（全頭）	
教科書・教材		評価基準	評価率
◆美容実習①◆		期末試験	100.0%
			その他

作成者:原田 高子

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
エステティック技術		美容学科／1年	2026／前期	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）		必須		原田 高子
授 業 の 概 要				
・エステティック（フェイシャル・ボディ）の基礎知識、技術				
授業終了時の到達目標				
エステティックを通して、お客様へに心配りを常日頃から意識して行動できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 2	授業概要 エステティック概論 お客さまを迎えるまで		自己紹介、授業概要説明 エステティック概論 立ち居振る舞い、マナー、姿勢 ベッドメイキング・準備	
3～ 4	皮膚科学 カウンセリング		皮膚科学 カウンセリング練習	
5～ 6	フェイシャルクレンジング		相モデルでクレンジング スポンジ・タオルふき取り	
7～ 8	フェイシャルクレンジング		ポイントメイククレンジング・クレンジング スポンジ・タオルふき取り 仕上げ	
9～ 10	フェイシャルクレンジング		ポイントメイククレンジング・クレンジング スポンジ・タオルふき取り 仕上げ マッサージ手順説明	
11～ 12	フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ		クレンジング フェイシャルマッサージ 仕上げ	
13～ 14	フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ デコルテマッサージ		フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ デコルテマッサージ 仕上げ	
15～ 16	クレンジング～仕上げ （パック）		クレンジング フェイシャルマッサージ デコルテマッサージ パック（スチーマー） 仕上げ	
17～ 18	クレンジング～仕上げ（パック） ハンドマッサージ		クレンジング フェイシャルマッサージ デコルテマッサージ ハンドマッサージ 仕上げ	
19～ 24	フェイシャルケアコース練習		クレンジング フェイシャルマッサージ デコルテマッサージ ハンドマッサージ 仕上げ	
25～ 26	期末試験対策		フェイシャルケアコース	
27～ 30	フェイシャル機器		フェイシャルケア 吸引	
教科書・教材			評価基準	評価率
日本理容美容教育センター 美容実習②、 美容技術理論②			確認テスト 期末試験	50.0% 50.0%
				その他

作成者:尾形 香代

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネイリスト実習		美容学科／1年	2026／前期	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（60時間）		必須		尾形 香代
授 業 の 概 要				
ネイリスト検定試験3級に必要な技能及び知識（ネイルケア・ネイルアートに関する基本的な技能及び知識の習得）				
授業終了時の到達目標				
ネイリスト検定試験3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1～5	ネイルとは		教材説明 爪の構造と働きなど	
6	筆記模擬試験		確認テスト	
7～10	ネイルケアの仕方と注意点		デモンストレーション 消毒管理、テーブルセッティング、カラーオフファイル、ガーゼクリーン	
11～12	ネイルケア実習		ネイルでのネイルケア実習 デモンストレーション	
13～24	ネイリスト技能検定試験3級試験要項説明 試験内容の手順 タイムトライアル		試験要項の説明、手順、デモンストレーション 相モデルでのネイルケア・カラーリング・アート タイムトライアル	
25～26	実技模擬試験		相モデルでの模擬試験	
27～30	チップ作成		チップを作り提出	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jnaテクニカルテキスト		確認テスト 期末試験 実習・実技評価	30.0% 40.0% 30.0%	

作成者:相原 有以

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
まつ毛エクステンション		美容学科／1年	2026／前期	演習
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）		必須		相原 有以
授 業 の 概 要				
まつ毛エクステンションの正しい施術方法を学び実践できる知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
教育センター主催の検定試験に合格する お客様の安心、安全を何より重視し健康被害のリスク等情報を提供できる技術者となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		実務経験 8 年の経験を活かし、安心・安全な技術力と知識を身につける		
時間外に必要な学修				
習った技術を自主練習し、検定合格を目指す				
回	テ ー マ		内 容	
1	導入 概論 まつ毛エクステンションの用具		まつ毛エクステンション概論 備品・道具・用材・材料	
2	衛生管理		病原微生物 殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌	
3	保健		眼に関する知識 皮膚に関する知識 まつ毛に関する知識	
4	カウンセリング		カウンセリングの目的 注意と説明事項	
5	カウンセリング		カウンセリングの実際	
6	理論		理論の復習と筆記対策	
7	実技		事前準備 テーブルセッティング	
8	実技		テーピング エクステンションの装備	
9	実技		テーピング エクステンションの装着	
10	実技		エクステンションのリムービング 使用後の道具の取り扱い	
11～ 15	実技		検定対策	
教科書・教材			評価基準	評価率
ABE text book			期末試験	100.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティビジネス実務		美容学科／1年	2026／前期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）		必須		相原 有以
授 業 の 概 要				
・ビューティビジネス実務検定の取得を目指し、実践的なコミュニケーションやカウンセリング力を身につける。 ・美容業界における接客マナー・ビジネススキル・トータルビューティに関する基礎知識を学び、サロンで求められる人材として基礎力を養う。				
授業終了時の到達目標				
・ビューティビジネス実務検定の取得 ・サロンワークで求められる人材育成				
実務経験有無		実務経験内容		
有		実務経験 8 年の経験を活かし、現場で活かせる指導を行う		
時間外に必要な学修				
学習した内容の復習				
回	テ ー マ	内 容		
1	美容業界におけるビジネスキャリア	1 社会人としての職業意識 2 美容業界の動き 3 美容業の仕事 4 美容業で働くということ 5 サロンの勤務 6 仕事への取り組み方とコンプライアンス① 7 仕事への取り組み方とコンプライアンス② 8 顧客志向の姿勢		
2	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	1 ホスピタリティの考え方 2 言葉によらないコミュニケーション 3 サロンスタッフとしての身だしなみ		
3	サロン内のコミュニケーション	1 スタッフ間の円滑なコミュニケーション 2 就業中の基本マナー 3 指示の受け方と報告の仕方 4 報告書の書き方 5 表とグラフの読み方 6 会議への参加		
4	接客の基本と電話の受け方・かけ方	1 印象の良い聴き方と話し方 2 敬語表現と正しい言葉づかい 3 指示の受け方と報告の仕方 4 報告書の書き方 5 表とグラフの読み方 6 会議への参加		
5	接客の基本と電話の受け方・かけ方	1 印象の良い聴き方と話し方 2 敬語の表現と正しい言葉づかい 3 接客の基本 4 電話対応の基本 5 電話の受け方 6 電話のかけ方 7 名刺交換の仕方		
6	サロンのメディア活用 ビジネス用語集	1 ITの基礎知識 2 メディア活用の留意点 3 ホームページの役割と集客 4 SNSの活用		
7	トータルビューティの仕事とビューティ・コーディネーター	1 トータルビューティ・コーディネーターという概念 2 ビューティ・コーディネーターの役割と能力 3 ビューティ・コーディネーターのキャリアプラン 4 ビューティ・コーディネーターの1日		
8～9	生産性を高めるサロンオペレーション	1 店舗内のクリンリネスと公衆衛生 2 顧客管理とスタッフ同士の連携 3 お客さまを誘導（アテンド）する 4 受付・接客時の言葉づかい 5 受付・接客時の言葉づかい ケース例 6 施術中のお客さまへの対応 7 会計業務と次回予約 8 店販品と販促 9 アフターカウンセリングの基本とお見送り		
10	「美意識」をコーディネートする	1 おしゃれをするには 2 トrendを理解するには 3 アドバイスをするための分析		
11	ファッションを理解する	1 生き方、年齢などによるファッション 2 ファッションの歴史を知り、ファッションを先読みする 3 日本独自の美容トレンドが生まれるまで 4 オリジナリティある美容の提案へ		
12	美容基礎知識	1 毛髪理論 2 頭皮科学 3 ヘアケア施術の名称と解説 4 色の基礎知識 5 パーソナルカラーとヘアカラー 6 顔型とヘアスタイル		
13	トータルビューティメニュー	1 メイクアップ 2 エステティック基礎知識 3 エステティック～脱毛～ 4 エステティック～痩身～ 5 ネイル 6 アイラッシュ・アイブロウ 7 ヘッドスパ		
14～15	検定対策	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビューティビジネス実務検定試験公式テキスト		期末試験	100.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
メイクアップ	美容学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位（60時間）	必須		繁藝 しずか
授 業 の 概 要			
1. スキンケア 2. ベースメイクアップ 3. アイメイクアップ 4. アイブロウメイクアップ 5. リップメイクアップ		6. ブラッシュオンメイクアップ 7. フルメイクアップ	
授業終了時の到達目標			
1. フルメイクアップの技術習得			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	1. 道具・アイテムの目的/施術者としての心構え	1) 道具とアイテムの目的/使用方法の確認 2) 施術者としての立ち位置/触り方/立ち居振る舞い	
2～4	2. スキンケアとベースメイクアップ	1) スキンケアの手順確認/実習 2) ファンデーションの色の選び方確認/実習 3) ベースメイクアップの手順確認/実習 4) ファンデーションの塗り分けと補正テクニック	
5～6	3. アイメイクアップ	1) アイラインテクニックの確認/実習 2) アイシャドーテクニックの確認/実習 3) アイラッシュカール・マスカラテクニックの確認/実習	
7～8	4. アイブロウメイクアップ	1) 眉の整え方/描き方 2) 眉型の確認/実習	
9	5. リップメイクアップ	1) リップメイクテクニックの確認/実習	
10	6. ブラッシュオンメイクアップ	1) ブラッシュオンメイクアップテクニックの確認/実習	
11～12	7. 基本のフルメイクアップ	1) フルメイクアップ実習	
13～14	8. 応用メイクアップ	1) アイメイクアップの応用テクニックの確認/実習 2) リップ/ブラッシュオンメイクアップテクニックの確認/実習	
15～16	9. トрендメイクアップ	1) トрендメイクアップテクニックの確認/実習	
17～20	10. シーン別メイクアップ	1) ウエディングメイクアップテクニックの確認/実習 2) パーティメイクアップテクニックの確認/実習 3) 着物メイクアップテクニックの確認/実習	
21～30	11. パーソナルメイクアップ	1) お客様の要望に合わせたフルメイクアップ実習 2) テーマを決めたフルメイクアップ実習（フォトコン） 3) フルメイクアップ（顔型別メイク） 4) フルメイクアップサービス（サロンワーク）	
教科書・教材		評価基準	評価率
・美容技術理論② ・美容実習②		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%
			その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パーソナルカラー		美容学科／1年	2026／前期	講義
単位数または時間数		必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）		必須		山富 秀世
授 業 の 概 要				
1. 色彩検定3級合格に向けての知識の習得 2. パーソナルカラーについての理解				
授業終了時の到達目標				
1. 色彩検定3級取得 2. 接客時のパーソナルカラーの活用				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
授業で行った箇所の予習・復習				
回	テ ー マ		内 容	
1	動機付け 授業概要の説明 色のはたらき		なぜ色彩を学ぶのか 色彩検定3級について 色の働きについて	
2	光と色		色はなぜ見えるのか ①光とは何だろう ②光の性質と色	
3	光と色		確認テスト1 眼のしくみ ①色を見る眼のしくみ ②網膜における光の処理	
4	光と色		確認テスト2 混色 ①混色とは何か ②加法混色 ③減法混色	
5	色の表示（表色系）		確認テスト3 色の分類と三属性 ①色の分類 ②色の三属性 ③等色相面 ④純色、清色、中間色 ⑤色立体 ⑥表色系	
6	色の表示（表色系）		確認テスト4 PCCS ①色相 ②明度 ③彩度 ④三属性による色の表示 ⑤等色相面 ⑥色立体 ⑦トーン	
7～ 8	色彩心理		色の心理効果 ①基本的な印象への効果 ②色の連想と象徴 色の視覚効果	
9～ 10	色彩調和		配色の基本的な考え方 色相を手がかりにした配色 ①色相を手がかりにした配色 ②色相に共通性がある配色 ③色相とトーンを組み合わせた配色 ④配色の基本的な技法	
11	ファッション インテリア		ファッションと色彩 ①ファッションコーディネートにおける色彩 ②ファッションにおける色彩の注意点 ③基本的なカラーコーディネート インテリアと色彩 ①インテリアとは ②インテリアデザイン インテリアのカラーコーディネーション ①インテリアのカラーコーディネーション ②インテリアに使われる色 ③インテリアの配色形式 ④配色とイメージ インテリアにおける色の心理的効果	
12～ 15	色彩検定対策		色彩検定過去問題	
教科書・教材			評価基準	評価率
文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級			期末試験	100.0%
				【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎Ⅰ	美容学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位（30時間）	必須		相原 有以
授 業 の 概 要			
就職活動も含めながら社会人となるための基礎力を身につける			
授業終了時の到達目標			
1) 3KAN教育（1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣）により企業が求める人材を育成する 2) 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3) 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて今回の学習内容の復習と予習を行う			
回	テ ー マ	内 容	
1	・就職活動の世界を知る ・偶然が作る人生	・就職活動の目的、目標を考える ・今まで出会ってきた偶然	
2	・ものの見方 ・考え方	・自分の癖を知る ・ものの見方を広げる	
3	・適性検査	・適性検査	
4	・記憶からたどる	・過去/現在/未来の自分から、自分を分析する	
5	・文章の書き方と構成の仕方	・文章の書き方について学ぶ ・テーマに沿った文章を構成する	
6	・自己PR作成	・自己PR作成	
7	・自己PR作成	就職の手引き P13-14 自己PR作成（400字）	
8	・企業の見つけ方	各学科での業界研究、説明	
9	・履歴書の書き方と伝え方	・自身の基本情報、趣味を書き出す	
10	・志望動機	・志望動機を書く	
11	・30問30答	・30問30答の作成	
12	・履歴書、30問30答、自己PR	・履歴書、30問30答、自己PRを完成させる	
13	・プレゼンの基本と応用	・自身の事故PRプレゼンテーションを振り返る	
14	・話の聴き方 ・面接の基本	・話の聴き方、面接の基本を学ぶ	
15	・オンライン面接・グループディスカッション	・オンラインでもコミュニケーション方法	
教科書・教材		評価基準	評価率
熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材（穴吹学園） 就職の手引き（穴吹学園） 手帳		課題・レポート	100.0%
			課題については、履歴書下書き提出、自己PR完成、志望動機完成、30問30答提出などを総合評価とする

作成者:相原 有以

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
インターンシップ I	美容学科／1年	2026／後期	実習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位（30時間）	必須		相原 有以	
授 業 の 概 要				
美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、職場を通して実践する				
授業終了時の到達目標				
職場を知り、仕事を知り、働く人間を知る 自らの将来を展望する 職業人として『働く意味』『やりがい』『規律』『チームワーク』『マナー』の習得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～ 15	サロンワーク	接客、清掃等様々なサロン内業務を通して職場を知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
就職実務	美容学科／1年	2026／後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
0単位（30時間）	必須		相原 有以
授 業 の 概 要			
・ 就職についての考え方を改める（なぜ就職する必要があるのか） ・ 自分なりの考察をもとに、「自分のスタイル」を見つける ・ 書類の書き方も理解する			
授業終了時の到達目標			
・ 就職を「自分」の人生の進路活動のチェックポイントとし、自分の進路の道筋を考える準備が終了する			
実務経験有無	実務経験内容		
時間外に必要な学修			
回	テ ー マ	内 容	
1	就職について	なぜ就職する必要があるのか、について	
2	履歴書	履歴書の書き方 1	
3～ 4	自己分析 1・2	過去	
5～ 6	自己分析 3・4	現在、未来	
7～ 9	自己PR文作成	自己PR文の作成	
10～ 12	企業研究	企業をピックアップし、その企業の特徴から志望動機を作成する	
13～ 14	履歴書用文書の作成	自己PR、志望動機の履歴書版を作成する	
15	志望動機の作成	履歴書の清書作業を行う	
教科書・教材		評価基準	評価率
・ 課題によっては参考資料として（記事抜粋）書籍や新聞なども使用		課題・レポート	100.0%
			【準備学習】 授業開始前に前回の 内容確認をおこなうこと